

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)米山5丁目賃貸マンション新築工事	
建設地	新潟県新潟市中央区米山5丁目142番1	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2023年2月 予定	
敷地面積	991.68 m ²	
建築面積	364.79 m ²	
延床面積	2,025.00 m ²	
階数	地上7F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2021年2月16日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.1}{45.7} = 0.9$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	2.5		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 1.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

防汚性の高い仕上や建材を採用、壁面が汚れないように水切りを採用するなど、長寿命の取り組みを行っている。また、LED照明を採用することで、省エネに配慮し、地球温暖化防止に努めている。資源循環の取組みでは、リサイクル材を積極的に採用し、環境に配慮している。

CASBEE新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)米山5丁目賃貸マンション新築工事	階数	地上7F
建設地	新潟県新潟市中央区米山5丁目142番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	84人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年2月16日
敷地面積	992㎡	作成者	ミサワホーム北越株式会社 新潟支店
建築面積	365㎡	確認日	2021年2月16日
延床面積	2,025㎡	確認者	ミサワホーム北越株式会社 新潟支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
窓にLow-Eガラス、樹脂と金属の複合建具を採用しており、温熱環境に配慮している。また、LED照明を採用することで、省エネルギー性に取り組んでいる。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	耐用年数の長い配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮している。	防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を設置することで省エネルギーに配慮している。	リサイクル材を積極的に採用し、環境に配慮している。	ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される